生活科学習指導案　　指導者　東広島市立吉川小学校　教諭　長谷川　悦子

よしかわたんけん！ホップ・ステップ・ジャンプ！

「よしかわの『すてき』をはいたつしよう！」

第２学年　男子３名　女子７名　計１０名

1 単元設定の理由

単元の目標

○地域を探検し，自分たちの生活は地域の様々な人や場所とかかわっていること，公共物や公共施設はみんなのものであることが分かり，地域への親しみや愛着をもつとともに，公共の場でのルールやマナーを守ろうとする態度を身に付ける。

学習指導要領　内容項目（３）地域と生活／（４）公共物や公共施設の利用

児童の実態

○本学級の児童はこれまでに，1年生に学校を案内し，施設やそこに従事する人々について説明したり，通学路探検をしたりしている。しかし，児童の行動範囲はあまり広くないため，吉川地域にある施設の目的やどのような人々が使用しているか等詳しく知っている児童は少ない。

○「生活科は好きですか」というアンケートでは，全員が「好き」と答え，意欲的に春を探したり，野菜の成長を楽しみに世話をしたりしている。しかし，「話し合いからよりよい考えに気付くことができた」と自信をもって答えられる児童はいない。話し合いにより気付きの質を高め合うまでには至っていない。

単元について

○本単元は，学習指導要領（３）「地域と生活」（４）「公共物や公共施設の利用」を受けて設定した。この単元を通して活動範囲を通学路から地域のものや公共施設にまで広げ，様々な人にインタビューしたり，調べたりする中で，自分の生活とのかかわりに気付かせることができると考える。

　また，郵便局を調べる中で，公共の場所の利用の仕方を考えさせるとともに，日常的に公共の場所を利用できる力につなげることができると考え本単元を設定した。

さらに，国語科の「お手紙」や手紙の書き方等の学習と関連付け，「手紙」を通して，地域の人々や家族と気持ちの交流をすることで地域への親しみや愛着，自己肯定感を高めることができると考える。

指導にあたって

〈研究主題にせまるために〉

主体的に学び，ふるさと吉川を創ろうとする子どもの育成
～思考ツールの効果的な活用とかかわり合いを通して～

○吉川の町探検から郵便局に着目させ，吉川子ども郵便局を開くことをゴールに設定する。郵便局や手紙について学習することを通して，多くの人とかかわらせ，吉川のよさを知り，さらに卒業時の自分に手紙を書くことで，自分の成長に気付かせたい。

○人とのかかわりや体験を重視し，繰り返し探検を行うことで，探究活動のスパイラルにつなげ，気付きの質を高めたい。また，児童が自信をもってかかわり，満足感をもって活動できるよう，目的やインタビュー内容を明確にしたり，あらかじめ訪問場所と連携をとったりしておく。

本単元における主体的な学びのための工夫

○充実した体験から実感の伴った思考を引き出したり，繰り返しかかわることで，気付きの質を高める。

○個で考える場合や全体で考える場合など場に応じた思考ツールを用い，考えを明確にもたせる。

○考える視点を明確にして，共通点や相違点，新たな気付きを見出すことができるようにする。

めざす児童の姿

○地域の施設や人々と進んでかかわり，地域の人やもの，公共物を大切にしようとするとともに，学んだことを自分の生活の中に取り入れ，実践することのできる子ども

2 単元構想図

学習の流れと評価計画
（全４２時間）

見つけたよ　春の吉川！吉川の名人！吉川のしごと！（１２時間）

↓

たんけんしよう！みんなのつかうもの！（８時間）

↓

吉川子どもゆうびんきょくをひらこう！（10時間）

↓

「吉川のすてき」をはいたつしよう！（８時間）

↓

みらいのじぶんに手紙をかこう！（４時間）

⇔

教科・特別活動で付けたい力

国語科（６月）
「風のゆうびんやさん」
郵便屋さんや手紙をもらった人物の様子や気持ちを想像しながら音読する力

道徳（４月）
「うれしい気もち」
気持ちのよいあいさつや返事をしようとする態度

国語科（６月）
「お手紙」
人物がしたことやそのときの様子に気を付けて物語を読むことを通して，自分の思いを手紙に書く力

出前講座(7月)「手紙の書き方」
国語科（９月)「『ありがとう』をつたえよう」
感謝の気もちを伝えるために，言葉を選び，伝えたいことを簡単な手紙に書く力

道徳（１０月）
「町の　ひみつ　わかったよ」
自分の町のよさを知り，よりよくかかわろうとする心情

国語科（１月）
「名人をしょうかいしよう」
書く事柄を整理して，紹介したいことが伝わるように,「名人しょうかいカード」を書き，友達と読み合ってアドバイスしたり，分かりやすく伝えたりする力

道徳（２月）
「じぶんがしんごうきに」
自分たちを世話してくれる人々の苦労を理解し，感謝する心情

常時活動（ことばチャレンジ　読書タイム　係活動　当番活動　朝・帰りの会）

↓

地域の施設や人々と進んでかかわり，地域の人やもの，公共物を大切にしようとするとともに，学んだことを自分の生活の中に取り入れ，実践することのできる子ども

３ 単元の評価規準

Ａ生活への関心・意欲・態度	Ｂ活動や体験についての思考・表現	Ｃ身近な環境や自分についての気付き
① 地域の人や場所，公共の物に関心をもって進んでかかわっている。 （かかわる力） ②発見したことを分かりやすく伝えようとしている。 （コミュニケーション能力）	①相手や場所に応じた行動について考え，活動の計画を立てたり，約束を決めたりしている。 （課題設定・探究力） ②活動したことを基に，工夫して郵便局を開こうとしている。 （思考力） ② 発見したことや考えたことを工夫して表現している。 （表現力）	①地域には様々な仕事があり，それに携わったり利用したりしている人がいること，また，地域にあるものや公共施設が自分たちの生活を支えていることが分かる。 （自分を見つめる力） ②地域の人々とかかわったり，学習したことを実践したりすることができるようになった自分に気付いている。 （生活に生かす力）

４　主なＥＳＤの視点

持続可能な社会づくりのための構成概念						ＥＳＤの視点に立った学習指導で重視する能力・態度						
Ⅰ 多様性	Ⅱ 相互性	Ⅲ 有限性	Ⅳ 公平性	Ⅴ 連携性	Ⅵ 責任性	① 批判的に考える力	② 未来像を予測して計画を立てる力	③ 多面的・総合的に考える力	④ コミュニケーションを行う力	⑤ 他者と協力する態度	⑥ つながりを尊重する態度	⑦ 進んで参加する態度
	○			○					○	○	○	○

【構成概念】

Ⅱ　相互性：販売しているものの中には，地域の方が心をこめて作ったものがあること。
Ⅴ　連携性：地域には様々な仕事があり，それに携わったり利用したりしている人がいること。

【能力・態度】

④コミュニケーション能力　：相手のことを考え，自分から進んで質問したり，郵便屋さんをしたり，友だちと話し合ったりする力を養う。

⑤他者と協力する態度　：順番を守ってインタビューや活動をしたり，グループで協力しながら話し合ったりする態度を身に付ける。

⑥つながりを尊重する態度　：地域のものや公共の場所と自分の生活がかかわっていることに関心をもち，地域の方に感謝しようとする態度を身に付ける。

５　指導と評価の計画（全４２時間）

小単元名（時数）	時	小単元の目標と主な学習活動 ◎ねらい　〇学習活動	評価規準 (評価の方法)
１　見つけたよ春の吉川！吉川の名人！吉川のしごと！ (課題の設定・情報収集１２時間)	４ ６ ２	**◎吉川探検にでかけ，吉川のすてきを見付けたり，話を聞いたり，体験したりする活動を，安全に気を付けながら行うことができる。** 〇吉川を歩きながら，人々のくらしの中に春を見付ける。 〇吉川で見付けた場所や人々とかかわったり，体験したりする。 〇それぞれの施設で発見したことを比べたり共通点を見付けたりし，次に調べたいものを考える。	・地域の人や場所と進んでかかわっている。A①（発言・行動観察） ・相手の都合や探検の仕方を考え，マナーを守って探検している。B①（行動観察） ・地域には様々な仕事があり，それに携わっている人，利用している人がいることに気付いている。C①(発言・行動観察・見つけたよカード)
２　たんけんしよう！　みんなのつかうもの！　(情報収集８時間)	２ ５ １	**◎計画をもとに，公共施設で働く人やその仕事，利用する人に目を向け，かかわりを深め，公共施設の大切さに気付くことができる。** 〇電車やバスを使って，見学に行く計画を立てる。 〇計画をもとに見学に出かけ，公共の場所で働く人や利用者とかかわったり，友だちと協力して見学したりする。 〇発見したことを友達と交流する。	・人々にとって大切な公共施設の存在に気付き，その使い方が分かる。C①（発言・行動観察・しおり） ・発見したことを工夫して表現している。B③（発言・発表資料）
３吉川子どもゆうびんきょくをひらこう！ （整理分析・まとめ表現１０時間）	６ ４	**◎学習したことをもとに，工夫して「吉川こどもゆうびんきょく」を開くことができる。** 〇地域探検や今までの学習で学んだことを基に，楽しい郵便局を開く計画を立て準備をする。〔本時２／１０〕 〇「吉川こども郵便局」を開いて，友達と協力して活動する。	・学んだことを生かして郵便局を開こうとしている。B②（発言・行動観察・制作物） ・友だちや家族，地域の方と郵便を通して進んでかかわっている。A①（発言・行動観察）
４「吉川のすてき」をはいたつしよう！ (まとめ・表現８時間)	３ ４ １	**◎お世話になった方をふるさとありがとう　集会に招待し，探検して発見した「吉川のすてき」を発表する。** 〇お世話になった方々へ招待状を書き，配達する。 〇地域の方に来ていただき，「吉川のすてき」を発表し感謝の気持ちを表す会を開く。 〇友達や招待した人から発表の評価を聞き，今までの活動を振り返る。	・見付けた「吉川のすてき」を分かりやすく伝えようとしている。A②（招待状・行動観察・発表・他者評価）
５　みらいのじぶんに手紙をかこう！ (まとめ・表現４時間)	３ １	**◎これまでの学習を振り返り，気付いた自分のよさや可能性，もっとチャレンジしたくなったことなどを考え手紙に書くことができる。** 〇これまでの自分を振り返り，自分のよさやこれからの生活について手紙を書く。 〇友達や家族と書いた手紙を交流し，未来の自分に意欲をもつ。	・自分の成長に気付いている。C②（発言・手紙） ・自分の成長に希望をもち，これからの生活について考え表現している。B③（発言・手紙）

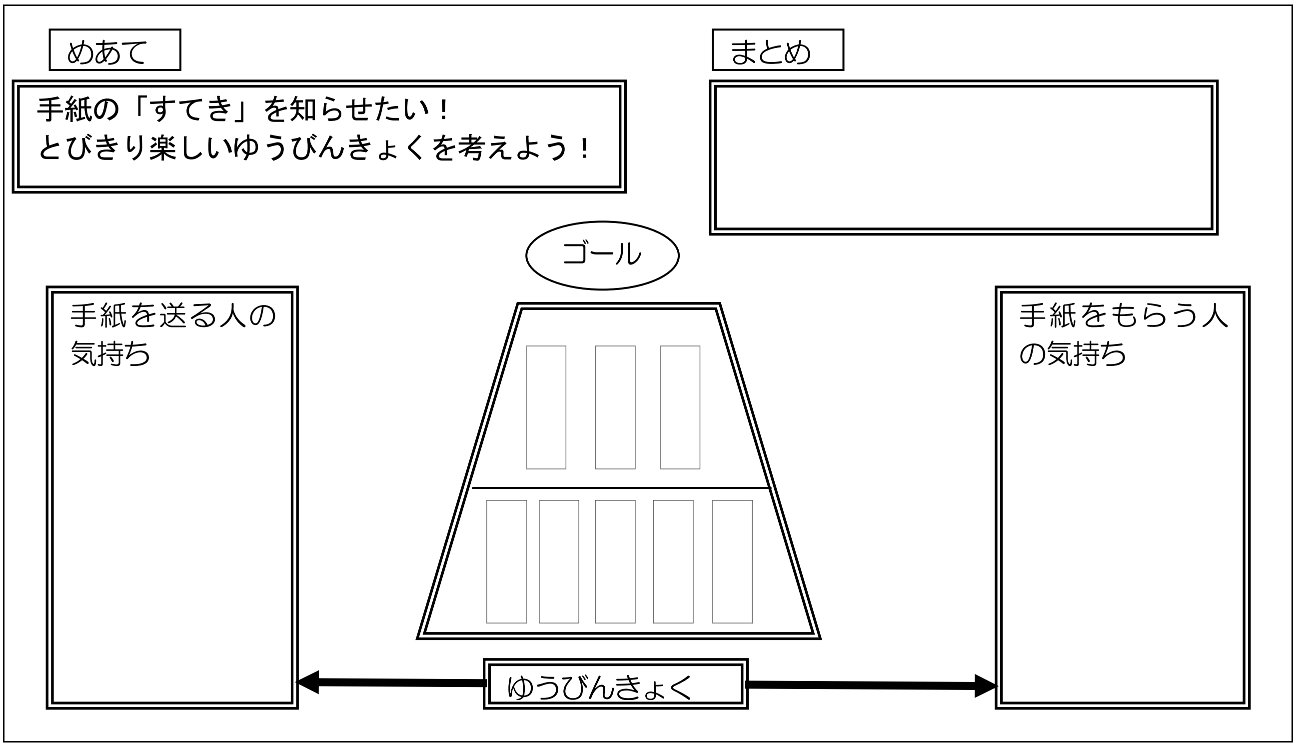
6　本時の目標（２２/４２時間目）

「吉川子どもゆうびんきょく」を開くために，既習事項を思い出したり，ゲストティーチャー（郵便局員さん）の話を聞いたりして，活動内容を考えることができる。
評価規準：活動したことを基に，工夫して郵便局を開こうとしている。　Ｂ②（思考・表現）

7　学習の流れ

学習活動と予想される児童の反応 主な発問（〇）	指導上の留意事項（◇） ◆努力を要する状況と判断した児童への指導と手だて	評価（☆）
今までの学習を振り返る。 ・社会見学で「郵便局」に行ったよ。 ・暑中見舞いのはがきをだしたね。	◇クラスのテーマソング「ジャンプ」を歌い，楽しい雰囲気を作る。 ◇写真などを準備して，視覚的に振り返ることができるようにする。	
２　郵便局員さんのお話を聞く。	◇手紙を書く人が減っている話を聞き，児童の予想とのギャップ感をもたせる。 ◇手紙を出す人・もらう人の思いを掲示し，それをつなぐ人の思いに興味をもたせる。 ◇郵便局の工夫や大変なこと，手紙に対する思いなど，低学年に合った話をしていただくために，事前に連携する。	
３　本時のめあてとゴールを確認する。 手紙の「すてき」をしらせたい！とびきり楽しいゆうびんきょくを考えよう！	◇本時のめあてとゴールを児童とともに確認し，目的意識をもたせる。	
４　ペアで活動内容を考える。 〇できるだけたくさんの楽しい活動を考えよう。	◇今までの学習で使ったものなどを準備し，これまで活動してきたことを想起させる。 ◇ペアで考えたアイディアを短冊に書かせる。	☆これまで活動したことを基に，工夫して郵便局を開こうとしている。 （発言・ワークシート）
５　話し合ったことを伝え合い，交流する。 〇どの活動が良いか，話し合いましょう。 ・葉っぱで押し花みたいなもようを付けたはがきを作ろう。 ・野菜スタンプはどうかな。 ・年賀状みたいに，くじを作ろう。 ・広告を出そう。	◇ピラミッドチャートを使って，出てきた意見を３つの活動にしぼる。その際「楽しい」「〔２年生でも〕できる」の視点を与えて考えやすくする。	
６　本時の学習のまとめをする。 〇これからの課題や感想をまとめましょう。 ・手紙を書いてくれる人が増えるといいな。 ・次は，グループごとに準備をしよう。必要なものは何かな。	◇本時のゴールが達成できたか確認させる。 	
７　本時を振り返り，次時につなげる。	◇次は郵便局の準備をすることを伝え，次時の意欲につなげる。	

８　板書計画


めあて
手紙の「すてき」を知らせたい！
とびきり楽しいゆうびんきょくを考えよう！
まとめ
ゴール
手紙を送る人の気持ち
手紙をもらう人の気持ち
ゆうびんきょく